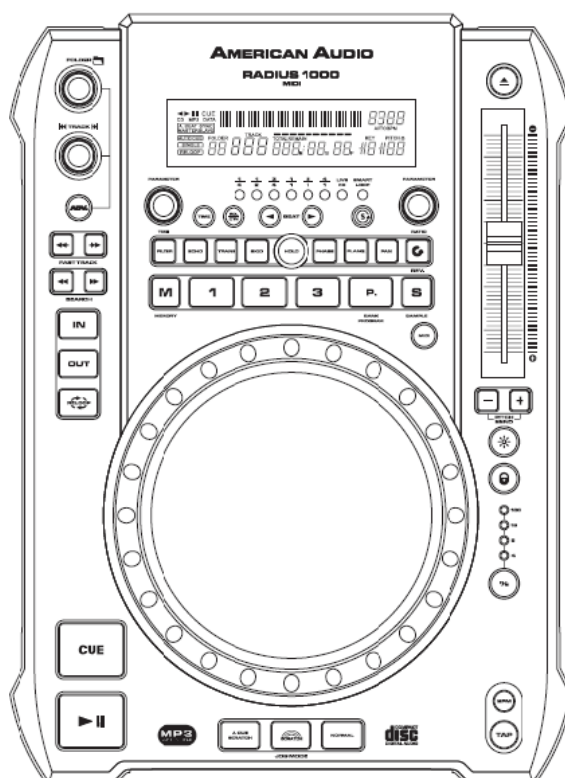


# AMERICAN AUDIO Radius 1000.

Featuring:



取扱説明書

## はじめに

この度はAmerican Audio社製、CDプレーヤーRadius1000をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。Radius1000は抜群の耐久性と高い性能を兼ね備えた、DJ用 CDプレーヤーです。Radius1000の性能を最大限に発揮させ末永くお使い頂くため、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、本書は保証書を兼ねておりますので、お読みになった後は大切に保管して下さい。

## お取り扱い上の注意点

1. ご使用頂く前に本書を良くお読み下さい。
2. 本製品は精密機器です。液体の進入には大変弱いので雨や飲み物などが本体にかからないよう充分ご注意下さい。風呂場、キッチン、プールなどの水周りでのご使用はお控え下さい。
3. 直射日光の当たる場所や暖房機器の前など高温になりやすい場所を避け、本機はなるべく通気性の良い場所に設置して下さい。
4. 本製品はラジエーター、ストーブ等の熱源から離して使用して下さい。
5. 定格電圧AC100V, 50/60Hz でご使用下さい。
6. 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動及び輸送時には、大きな衝撃が加わらないようにして下さい。
7. 電源コードには機材への挟みこみ等、無理な力が加わらない様にご注意下さい。
8. 信号の入出力端子に、許容範囲を越える異常電圧が加わらない様にして下さい。
9. 本製品は半導体レーザーを使用しております、お使い頂く際は部屋の温度が5℃～35℃以内であることをお確かめ下さい。
10. 下記の場合、本製品の使用をお止め頂き、専門店または販売店にご相談下さい。
  - ・ 電源ケーブルやプラグの損傷、断線
  - ・ 部品が取れた、液体を本体に溢した
  - ・ 雨や水を請けた
  - ・ 通常通りに動かない

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくは正規代理店に連絡して下さい  
無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります

梱包を開き破損した部品や欠品がないか確認して下さい。  
本体に異常がある場合は本製品の使用をお止め頂き、販売店にご相談下さい。

## セットアップ時の注意点

- 1) まずRadius1000に電源ケーブルが接続されていないことを確認して下さい。
- 2) CDプレーヤーのスイッチを入れる前にボリュームコントローラー及びフェーダーなどのつまみはゼロに合わせて下さい。
- 3) 温度差の激しい状況下にあった場合、すぐに電源を入れない様ご注意下さい。
- 4) 結露により本体を破損する恐れがあります。
- 5) CDプレーヤーが室温に達するまで、本体の電源は切っておいて下さい。

## 操作戴くにあたり

- CDプレーヤーを設置する際は、高温多湿、塵や埃にご注意下さい。
- 30度以上の高温や5度以下の低温な状況でのご使用はお控え下さい。
- ヒーターの傍に置いたり、太陽の直射日光に当てないようにご注意下さい。
- 故障を回避する為にも操作方法を良くご理解の上ご使用下さい。

## 主な機能

- MP3,CD,CD-Rディスクを再生可能
- スロット イン CD
- 微調整可能なBPM機能
- オートキュー
- 1/75秒フレームサーチ
- リアルタイム・キュー
- 8段階のスピードスキャン（4フォワード/4リバース）
- ピッチ表示
- デジタル・コアキシャル出力
- 大型で見やすいデジタルディスプレイ
- フェーダーQスタート・コントロール(a)
- シームレスループ（連続ループプレイバック）
- サンプラー機能
- 10秒デジタル・アンチショック機能
- フリップフロップ(リレー再生)(b)
- ジョグホイール・ピッチベンド(最大±100%)
- ジョグホイール感度調整機能

- 1500プログラム可能 キューポイント(500x 3) (d)
- 3プログラム可能 キュー(バンク)ボタン
- ピッチ調整: ±4%、±8%、±16%、±100%
- インスタント・スタート/10ms
- MP3トラックリスト
- MP3フォルダーサーチ
- アドバンス・トラックサーチ(P—参照)
- リアルタイム・スクラッチ再生
- リバース再生
- パンエフェクト
- スキッドエフェクト
- フィルターエフェクト
- フェーズエフェクト
- エコーエフェクト
- フランジャーエフェクト
- トランスエフェクト
- トリムコントロール搭載ヘッドフォンジャック
- ミュージック・マスターテンポ
- スリープモード(e)
- メモリーバックアップ、最後のセッティングを既定値に設定(c)
- シングル/コンテニュー再生切り替え

(a)フェーダーQ スタート

Qスタート対応のAmerican Audio DJミキサーに接続し、フェーダーQスタート機能を使用できます。この時、ミキサーの“クロスフェーダー”は必ず左右逆転させずに使用して下さい。

(b)フリップフロップ

Qスタート対応のAmerican Audio DJミキサーに接続し、フリップフロップ機能を使用できます。フリップフロップとは片方のプレーヤーの再生が終わると、もう片方の再生をスタートさせる機能で、2枚のCDを連続してリレー再生する事ができます。

詳細については、後述のフリップフロップの項目をご覧下さい。

#### (c)メモリーバックアップ

Radius1000はメモリーバックアップ機能を搭載しています。電源を切った後も本体のセッティング (SGL,CTN,エフェクトパラメーター)を記憶します。また、ディスクの取り出し後も、メモリー内のキューポイントやサンプルを記憶しています。

この機能の詳細については、後述のメモリーの項目をご覧ください。

#### (d)キューポイントプログラム

3つのバンクボタンを搭載、各バンクボタンに500のキューポイント、計1,500のキューポイントの保存が可能です。内蔵メモリーに記憶させることができ、いつでも呼び出す事ができます。

この機能の詳細については、後述のキューポイントの項目をご覧ください。

#### (e)スリープモード

一時停止中に15分間本体の操作が行われないと、自動的にスリープモードに切替わります。

## セットアップ

### 1. パッケージ内容

- ・ Radius1000 プロフェッショナルCD プレーヤー(本体)
- ・ 取扱説明書(兼保証書)
- ・ RCA ケーブル
- ・ 1/8"リレー ケーブル
- ・ USB ケーブル

### 2. 設置

本体は必ず安定した大きな台の上へ水平に設置して下さい。

### 3. 接続方法

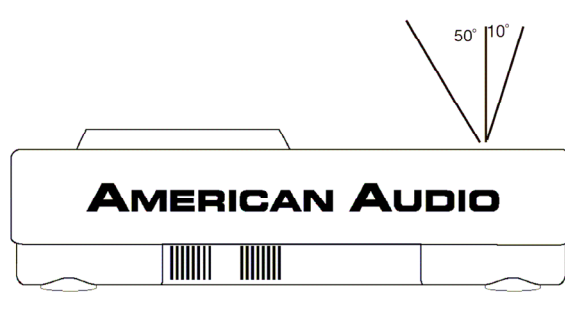
- 1) まず本体に電源ケーブルが接続されていないことを確認して下さい。
- 2) 付属のRCAケーブルでRadius1000のオーディオ出力端子と、DJミキサー等の入力端子を接続します。
- 3) Qスタート対応ミキサーと接続する際は、付属のミニプラグ・ケーブルも接続して下さい。

## 注意

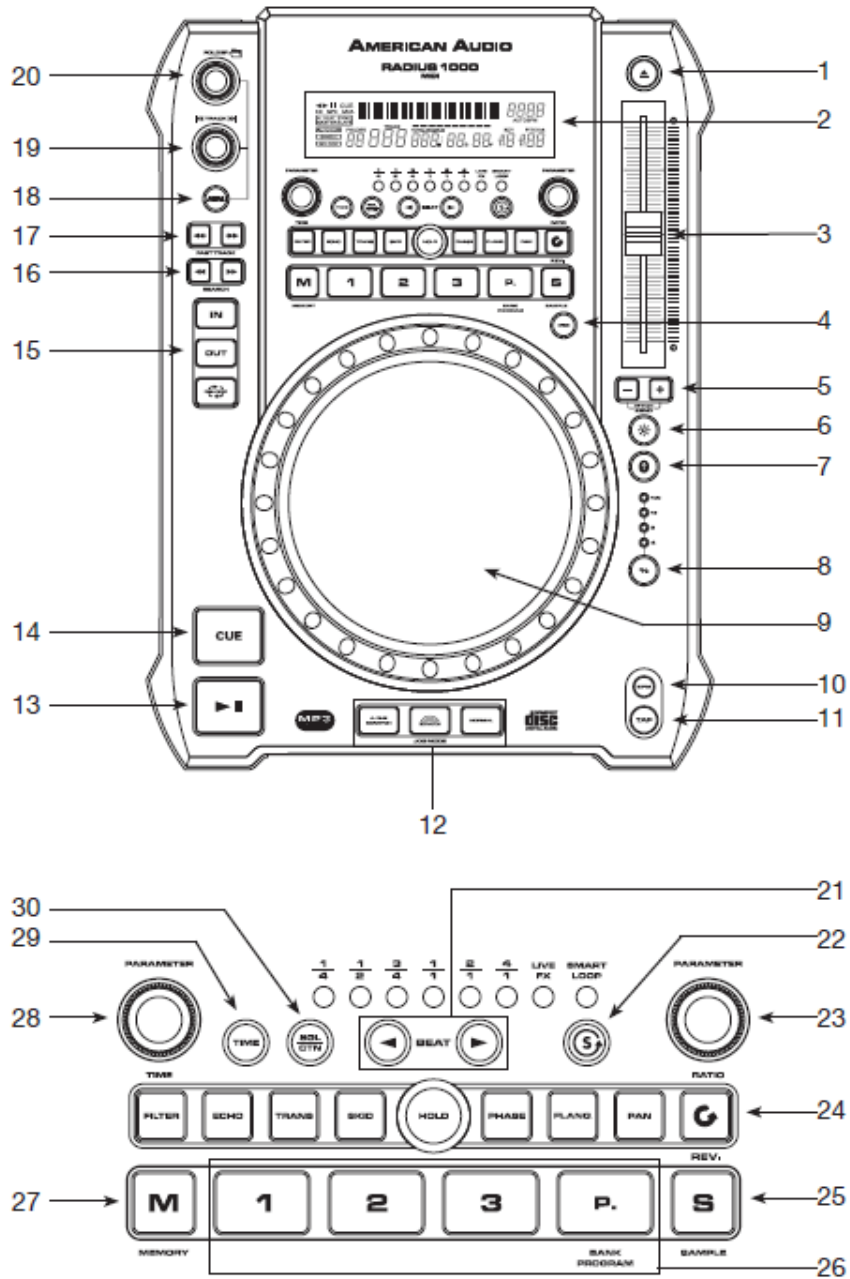
- Qスタートの接続は、必ず付属のミニプラグ・ケーブルをご使用下さい。その他のケーブルを使用すると、本体が故障する恐れがあります。
- ケーブル等の接続をする際は本体の故障を防ぐ為に、必ず電源がオフになっていることを確かめて下さい。
- 本体はフロントパネルが垂直面からの傾斜が15 度以内の時に正常に動作します。それ以上に大きく傾いている際には、CD の出し入れなどが正しく行われない場合があります。



- ディスプレイは下図の角度内で、よく視認できるように設計されています。この範囲内でディスプレイが見えるように、本体を設置して下さい。



## 基本操作とコントロールの説明



### 1. CD イジェクト機能

ディスクを取り出す時に使用します。誤操作を防ぐために、再生中はこのボタンを押してもディスクは取り出すことができません。

### 2. LCD ディスプレイ画面

ディスプレイに、CDの再生状況などを表示されます。画面についての詳細は後述の「ディスプレイ・パネル」を参照して下さい。

### 3. ピッチスライダー

ピッチを調節する際に、このスライダーを使用します。

### 4. MIDI ボタン

MIDI モードをアクティブにします。

### 5. ピッチベンドボタン

(-)再生中のピッチを一時的に遅くして、他の音源とのズレを補正することができます。ピッチベンドは一時的な機能ですので、ボタンから指を離すとスライダー(3)で設定したピッチに戻ります。このボタンを押し続けると、最大-100%までピッチが下がります。

(+)再生中のピッチを一時的に早くして、他の音源とのズレを補正することができます。ピッチベンドは一時的な機能ですので、ボタンから指を離すとスライダー(3)で設定したピッチに戻ります。このボタンを押し続けると、最大+100%までピッチが上がります。

※ピッチベンドボタンはあくまでも一時的な機能です。より正確にピッチを合わせるには、ピッチスライダーを使用して下さい。

### 6. ピッチ・ON/OFF ボタン

ピッチ調整機能のオン/オフができます。ピッチは4%、8%、16%、100%で調整できます。詳細は後述のピッチ調整をご覧下さい。

### 7. テンポロック・ファンクション

このボタンで音程(ピッチ)を変える事無く、スピード(テンポ)の変更が可能になります。

### 8. ピッチ%セレクター

ピッチの可変幅を、4%、8%、16%、100%から選択します。

## 9. ジョグホイール/エフェクトプلاتター

ジョグホイールには3つの機能があります。

- A. CDが一時停止またはキューモードの時、フレームサーチ・コントロールとして機能し、キューポイントを設定することができます。
- B. CDの再生中はピッチベンドとして機能します。時計周りに回すとピッチを最大+100%まで上げることができ、反時計回りの方向に回すとピッチは最大-100%まで落とすことができます。ピッチベンドの大きさは、ジョグホイールを回すスピードや回転数によって決められます。

## 10. BPMボタン

BPM表示のオートとマニュアルを切り替えます。

## 11. TAPボタン

BPM表示がマニュアル設定の時に使用します。ビートに合わせてTAPボタンを連打すると、本体のディスプレイにBPMが表示されます。

## 12. ジョグホイールエフェクト/コントロール

ノーマルボタン:ジョグホイール(9)をピッチベンドとして使用します。

スクラッチボタン:デジタル・スクラッチが使用できます。ジョグホイール(9)の上面に触れると、レコードを止めるようにCDの再生を停止させ、前後に動かすことでスクラッチができます。

A.キュー・スクラッチボタン:

再生中 - ジョグホイール(9)の上面に触れることで、最終設定されたキューポイント又はバンクボタン内のキューポイントへ戻り、そのままスクラッチを行うことができます。

キュー・一時停止中 - ジョグホイールに触れている間はキューポイントから再生を続け、離すとキューポイントへ戻ります。

## 13. 再生/ポーズ・ボタン

CDの再生と一時停止を切り替えることができます。再生中はボタンのLEDが点灯し、一時停止中は点滅します。

## 14. キュー

再生中にCUEボタンを押すと、一時停止しキューポイントへ戻ります。キューモードの時には青色のLEDが点灯し、キューポイントが設定されるとLEDが点滅します。キューボタンを押し続けると、一時的なCDの再生が可能です。キューボタンを離すとキューポイントへ戻ります。キューボタンをタップすれば、BOPエフェクトにとして使用できます。

## 15. IN, OUT, RELOOPボタン –

### INボタン

再生中にINボタンを押すと、再生を中断することなくループの起点を設定することができます。また同時にキューポイントとして設定されます。


### OUT ボタン


ループの終点を決定します。またループ中にこのボタンを押すと、ループから抜けることができます。

### RELOOPボタン


ループの設定がありループ再生していない時に、このボタンを押すとループモードに戻ります。RELOOPが使用できる状態では、ディスプレイ(2)にRELOOP/LOOPが表示されます。


## 16. サーチボタン

 早送りサーチを行います。

 巻戻しサーチを行います。

## 17. トラックボタン

 次のトラックに移動します。押し続けると高速サーチが可能です。

 トラックの始めに戻ります。押し続けると高速サーチが可能です。

## 18. ADV.トラックボタン

再生/一時停止中もこのボタンで次のトラックを選択する事ができます。このボタンを押すとADV.TRACK又はFOLDER又はTRACKが点灯します。FOLDER KNOB(20)又はTRACK KNOBを回して、次のトラックを検索することができます。再生したいトラックが見つかったらFOLDER KNOB(20)を一度押して下さい。ディスプレイに“Searching...”と表記され、トラックが見つかったら“FOUND”と表記されます。すぐに再生する時は、もう一度FOLDER KNOB(20)を押して下さい。

## 19. トラックノブ

トラックノブには3つの機能があります。

- A. ノブ(つまみ)を回転させ選択されたフォルダーをサーチすることができます。
- B. ノブを押しながら回転させると、10トラックずつ前後させる事ができます。
- C. ノブを押すとアーティスト、曲名、ジャンル、ビットレートの表示を切り替えることができます。

## 20. フォルダーノブ

フォルダーノブには2つの機能があります。

- A. ノブを回転させフォルダーのサーチを行えます。
- B. フォルダーノブを押しながら、RATIO(23)を回すと、ディスプレイに表示される曲名やアーティスト名をスクロールさせることができます。

## 21. ビート・シンクロ セレクトボタン

BPMに対応した拍数に基づいて、エフェクトのパラメーターを操作できます。

レイシオ: 1/4, 1/2, 3/4, 1/1, 1/2, 1/4

ビート・シンクロから抜けるには、左右のボタンを同時に押して下さい。

## 22. スマートループボタン

ループのINボタンを押すだけで、BPMに合わせて自動的にループ再生を始める機能です。ビート・シンクロボタンでループの長さを選択できます。

## 23. パラメーターレイシオノブ

エフェクトのパラメーター調節に使用します。ノブを押してジョグホイールを回転させ、パラメーターレイシオバリューの調節も可能です。

## 24. エフェクト/ホールド ボタン

フィルターボタン: フィルターエフェクトのON/OFFに使用します。

原音に異なる音色を加えフェーズのような効果があります。

エコーエフェクト: エコーエフェクトのON/OFFに使用します。

アウトプット信号にエコー(ディレイ、山びこ)を加えます。

トランスエフェクト: トランスエフェクトのON/OFFに使用します。

ミキサーで行うトランスフォーマー・エフェクトをシミュレートします。

スキッドボタン: スキッドエフェクトのON/OFFに使用します。

レコードを止めるように、CDの再生停止をシミュレートします。

### ホールド ボタン

ホールド ボタンには2つの機能があります。

パラメーターロック: エフェクト用に設定したパラメーターをロックする事ができます。ホールドのファンクションが選択されていない時、LEDが赤く点灯します。ホールドセクションがアクティブでない場合、エフェクトパラメーターの変更は全て一時的なものとなります。

システムロック: 5秒間押し続けるとシステムにロックがかかります。ホールドファンクションがアクティブの時LEDが点灯します。ロックを解除する際は5秒間ボタンを押し続けて下さい。

フェーズボタン: フェーズエフェクトのON/OFFに使用します。原音に異なる音色を加えフィルターのような効果があります。

フランジャーエフェクト: フランジャーエフェクトのON/OFFに使用します。アウトプットの信号に歪みをかけフェーズイン/アウトの周波数に似た効果を発揮します。

パンエフェクト: トランスとパンエフェクトのON/OFFに使用します。パンエフェクトは左右のチャンネルへ出力を連続的に切り替えます。

リバーブ: リバーブ再生モードのON/OFFに使用します。トラックまたはサンプルをリバーブ再生します。ピッチ、エフェクト機能は通常通り操作できます。

## 25. サンプルボタン

サンプルのセットと保存に使用します。サンプルボタンを押し、ループしたい BANK ボタンを押すとループモードを設定します。LED が点灯します。

## 26. バンクプログラムボタン

保存された 12 のサンプルのシーケンスをプログラムできます。

### バンクボタン 1-3

3 つのキューポイント又はサンプル 3 つの保存に使用します。各バンクボタンには1つのサンプル又はキューポイントの保存が可能です。サンプルの再生は SAMPLE ボタンを押し後に BANK PROGRAM ボタンを押して下さい。

## 27. メモリーボタン

このボタンには 2 つの機能があります。

メモリーモードのアクティベート (LED が点灯します)

メモリーモードをアクティブにした状態で BANK ボタンを押すとキューポイントの保存、ループ再生の設定が行えます。

再生中に BANK ボタンを押すとループ再生をマニュアルで操作できます。お好みのループエンディングポイントで再度 BANK ボタンを押して下さい。

BANK に保存中のループ、キューポイントをシステムメモリーに保存する場合は MEMORY ボタンを 1 秒間押して下さい。

## 28. パラメータータイムノブ

パラメータータイムバリューの調節に使用します。

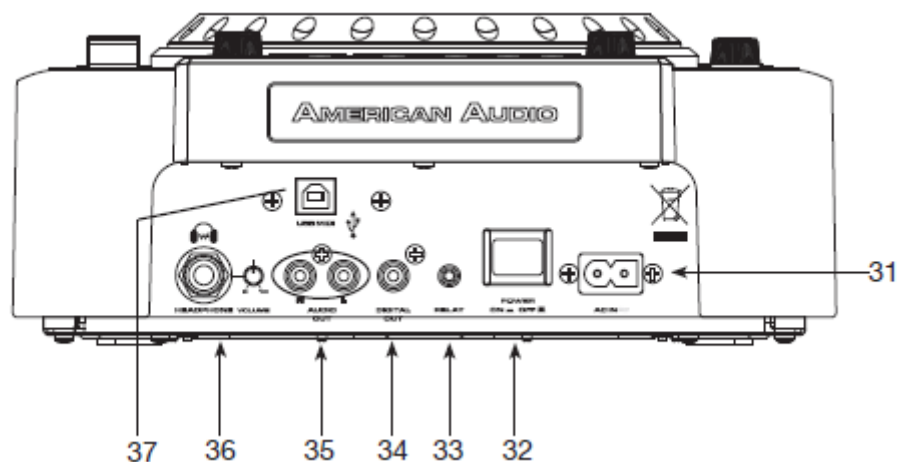
TIME KNOB を押して JOG WHEEL を回しながらの調節も可能です。

## 29. タイムボタン

ディスプレイにおける”再生時間/トラック残り時間/合計残り時間”の表示の切り替えに使用します。

## 30. SGL/CTN

シングルトラック再生と連続再生の切り替えに使用します。この機能で FLIP-FLOP モードの操作も可能です。1 秒間ボタンを押す事によりオートキューの ON/OFF の切り替えもできます。



## B. リアパネル

### 31. 電源コネクター

電源コンセントを接続します。必ず付属の電源コードを使用して下さい。

### 32. 電源スイッチ

本体の電源オン/オフを切り替えます。

### 33. リレージャック

CD プレーヤー2 台に接続しリレー(フリップフロップ)再生ができます。また、American Audio “Q”シリーズのミキサーに接続して、“Q”スタート機能も使用できます。

### 34. デジタル出力

デジタル・コアキシャル出力です。MD や CD-R レコーダーなどとデジタル接続します。

### 35. オーディオ出力

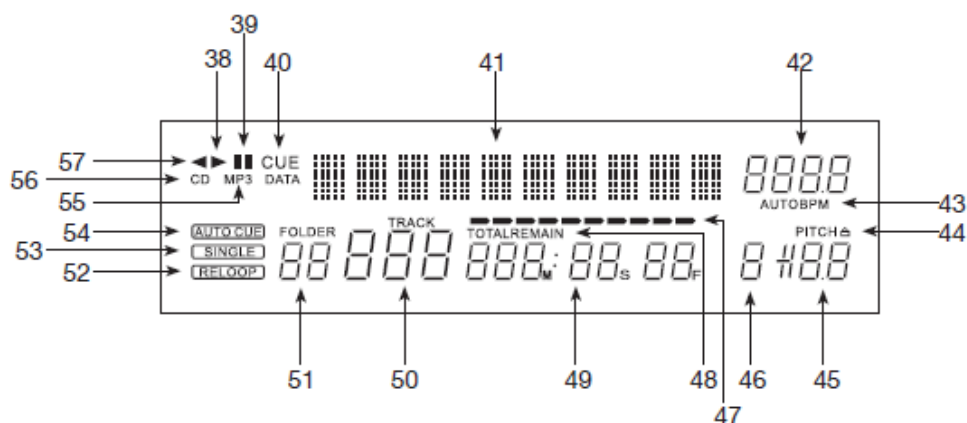
ステレオ・ピンケーブルで、DJ ミキサーの LINE 入力と接続します。

### 36. ヘッドフォンジャック&ボリュームコントロール

ヘッドフォンの接続に使用します。ヘッドフォンジャックの隣には、ボリュームコントロールツマミがあります。

### 37. USD MIDI ジャック

コンピューターへの接続に使用します。



## C. ディスプレイ ディスプレーパネル

### 38. プレイ・インジケータ

本体がプレイモードの時、インジケータが点灯します。

### 39. ポーズ・インジケータ

本体がポーズモードの時、インジケータが点灯します。

### 40. キュー・インジケータ

本体がキューモードの時インジケータが点灯し、キューポイントが新たに設定されると点滅します。

### 41. キャラクターディスプレイ

MP3 ディスクを挿入すると、アルバム名、曲名、アーティスト名などを表示します。

### 42. BPM メータ

再生中のトラックの BPM を表示します。

### 43. オート BPM

本体の AUTO BPM がアクティブの時、インジケータが点灯します。

44.  テンポロック 本体のテンポロックがアクティブの時、インジケータが点灯します。

### 44. ピッチインジケータ

ピッチフェーダーの設定値を表示します。

45. 衝撃防止バッファertime

衝撃防止のバッファertimeを表示します。

47. タイムバー・インジケーター

視覚的におよそのトラック時間またはディスク時間を表示し、トラックが終わりそうになると点滅を始めます。

48. 残り時間インジケーター

ディスプレイにREMAINと表示されている場合は、時間表示がトラックの残り時間を表示します。

49. タイムメーター

トラックの再生時間または残り時間を、時間、秒、フレーム単位で表示します。

50. トラックディスプレイ

再生中またはキュー状態にあるトラック番号を表示します。

51. フォルダーディスプレイ

使用中のフォルダーを表示します。

52. リループインジケーター

ループ使用中に点灯します。

53. シングルインジケーター

CDドライブがシングル(曲単位)再生モードになっていることを表示し、トラックが終了するとキューモードに戻ります。このインジケーターが点灯していない場合は、連続(ディスク単位)再生モードになっています。

53. オートキュー

オートキューのON/OFFを表示します。SGL/CTNを一秒間押して、オートキューのON/OFFを切り替えます。

54. MP3インジケーター

本体にMP3ディスクを挿入すると点灯します。

## 56. CDインジケータ

本体にCDディスクを挿入すると点灯します。

## 57. リバースインジケータ

リバース再生中に点灯します。

## インターナルメニュー

FOLDER KNOBを2秒以上押すとインターナルメニューが表示されます。TIME/RATIO/KNOBSのいずれかを選択するとサブメニューが表示されますので設定を行いFOLDER KNOBを再度押すとメニューから抜けられます。

1. ジョグモード                    JOG LEDモードの選択をします。
2. 感度                            ジョグホイールの感度調節を行います。
3. ピッチベンド                ピッチベンドの幅を±1%~100%の間で設定できます。
4. ディスプレイ時間            ディスプレイに表示される曲名などの表示時間を、0.5~12.0秒の間で設定できます。
5. スクロールスピード        曲名のスクロールスピードを50~2000msecの間で設定できます。
6. スリープタイム            スリープモードに入るまでの時間を5~120分の間で設定できます。
7. 明度                          ディスプレイ明度を1~10の間で設定できます。
8. A.キューレベル            オートキュー機能が働くレベルを-36~+78dbの間で設定できます。
9. MIDI CC タイプ            フォルダー/トラック/パラメータータイム/パラメーターレイシオ。MIDIモードでのピッチは REL/(RELATIVE)と ABS.(ABSOLUTE)の変更ができます。ピッチは BEND(PITCH BEND)と ABS.(ABSOLUTE)の変更が可能です。
  - A. MIDI CH    チャンネル1~16、コントロールチャンネル1~8, 9~16の変更を行います。
  - B. MIDI 設定    MIDIモードの際、デュアルコントロール ON/OFF、JOGでのCDコントロール&ピッチベンド、ピッチ ON/OFF&ピッチ%設定可能。
  - C. ビットレート    MIDIモード中のディスプレイ ON/OFF
  - D. バージョン    CON: VerXX    コントロールバージョン  
SER: VerXX    サーボバージョン  
BUF: VerXX    バッファージョン  
DSP: VerXX    DSPバージョン
  - E. デフォルト    YES? デフォルトバリューに戻ります。  
NO?    デフォルトバリューに戻らず抜けます。

- F. 終了&保存 次回電源を入れた際の設定です。(メモリーボタンでどの作業中でも保存&終了が可能です。)
- G. 終了 保存をせずに終了します。(フォルダーノブを押すとすぐに抜けられます。)

**注意:**

設定を保存できる項目:ピッチ ON/OFF、ピッチレンジ、SGL/CTN、オートキュー、タイムモード、ホールド、キーロック、エフェクト ON/OFF、感度、スリープ、ストップ、再生時間、ジョグモード、明度、A.キューレベル、サーチスピード、MIDI CC タイプ、MIDI CH、MIDI セットアップ

デフォルトに設定される項目:ピッチ(ON)、ピッチレンジ(8%)、(CTN)、オートキュー(ON)、タイムモード(REMAIN)、ホールド(OFF)、キーロック(OFF)、エフェクト(OFF)、感度(+05)、スリープ(15min)、ストップ(3 秒)、ラン(400msec)タイム、ピッチベンド(ピッチレンジ)、ビットレート(Disp. ON)、ジョグモード(MODE1,6)、明度(10)、A.キューレベル(-48db)、MIDI CC タイプ(REL)、ピッチ(BEND)、MIDI CH(CH1)、MIDI セットアップ(JOGOUT 0ms)(I/O HIDE)、デュアルコントロール OFF(PULSE1024)

## 基本操作

### 1. ディスクの挿入/取り出し

Radius1000 は12cmCD の再生が可能です。変形したCD や楕円形のCD などは使用できません。CD を挿入する時は、ディスクの端を持つようにして下さい。ラベル面を上にして、静かにトレイに挿入して下さい。ディスクの信号面(光沢面)は絶対に触らないで下さい。ディスクを取り出す時はCD の再生を止めてから、EJECT ボタンを押して下さい。

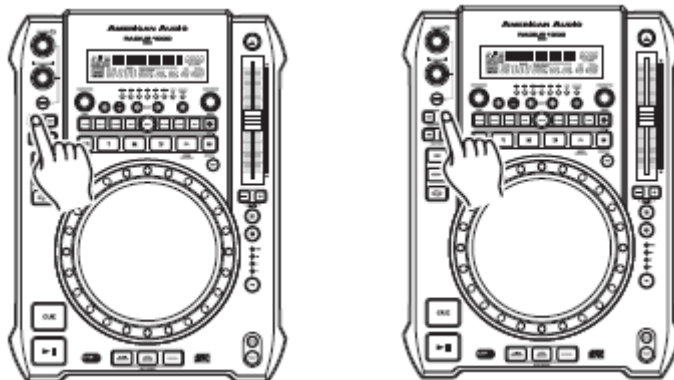


#### 注意:

- ディスク・スロットには 12cmCD 以外のものを入れないで下さい。
- 一度にディスクを 2 枚以上入れないで下さい。本体やディスクの破損を引き起こす可能性があります。
- 電源が入っていない時に、無理矢理ディスクを出し入れしないで下さい。ドライブ・システムが破損する恐れがあります。

## 2. トラックの選択

トラックボタン(17)またはトラックノブ(19)を使ってトラックを選択します。トラックボタンを押し続ける、又はトラックノブを回転させると素早くトラックを変えることができます。トラックノブを押しながら回転させると10曲ごと飛ばして再生したい曲を検索できます。



## 3. スタート

PLAY/PAUSEボタン(28)を押すと、再生がスタートします。再生中はPLAY(42)インジケータが点灯します。再生をスタートさせたポイントが、自動的にキューポイントとして保存されます。キューボタン(14)を押すとキューポイントに戻ります。



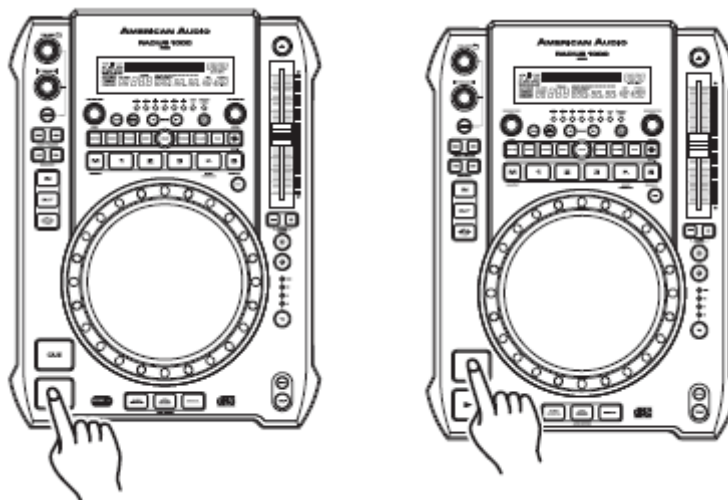
## 4. ポーズ

再生を一時停止する機能です。PLAY/PAUSEボタン(13)を押すと再生と一時停止モードが切り換ります。一時停止モード状態の時は、ディスプレイ画面(2)の一時停止インジケータ(39)が点灯し、緑色のPLAY/PAUSEボタン(13)LEDが点滅します。

## 5. 再生ストップ

Radius1000は再生を一時停止しても、すぐにドライブは停止しません。トラックを一時停止状態にしているため、CDの再生をすぐに再開することができます。ディスクを取り出すかスリープモードになると、ドライブ装置が停止します。再生を停止(一時停止)するには次の二通りの方法があります。

- 1) 再生中にPLAY/PAUSEボタン(13)を押します。PLAY/PAUSEボタンを押した場所で再生が停止します。
- 2) 再生中にCUEボタン(14)を押します。再生が停止し最後に設定したキューポイントに戻ります。

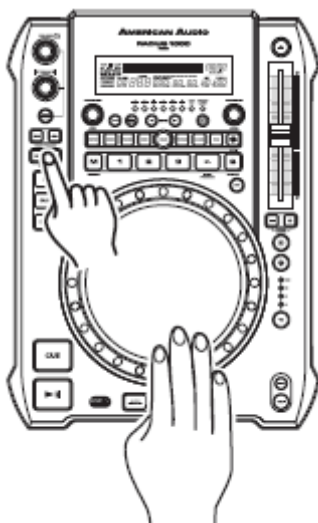


## 6. オートキュー

ディスクを入れると、自動的にトラック1の先頭へキューポイントを設定します。

## 7. フレームサーチ

フレームごとにトラックをスクロールすることができ、キューポイントやサンプル、ループの設定が可能です。一時停止モードまたはキューモードにすると、フレームサーチを行うことができます。ジョグホイール(9)をゆっくり回してトラックをスクロールします。時計回りにジョグホイールを回してフレームを進めることができ、反時計回りでフレームを巻き戻すことができます。ジョグホイール使用時はモニター機能で、スクロール中のポイントを確認できるようになっています。フレームサーチでスタートポイントを決めたら、PLAY/PAUSEボタン(13)を押して再生を始め、同時にキューポイントを設定します。CUEボタン(14)を押すと前のキューポイントに戻ります。



## 8. スキャンニング

サーチボタン(16)を押し続けると、再生中のトラックを早送り(巻戻し)できます。



## 9. キューポイントの設定と保存

### 設定方法

PLAY/PAUSE(13)を押して、再生を開始したところがキューポイントになります。キューポイントはディスクのどこにでも設定することができます。各ディスクに3つのキューポイントを設定でき、キューポイントはバンクボタン1-3(26)に保存できます。設定は下記の2つの方法があります。

- 1) 再生中にIN ボタン(15)を押して下さい。再生を止めることなくキューポイントを設定できます。CUE ボタン(14)を押すとIN ボタンを押した場所に戻ります。キューポイントはBANKボタンに保存ができます。



- 2) ジョグホイール(9)を使って、キューポイントを設定することもできます。一時停止またはキューモードになっている間に、ジョグホイールを使ってトラックをスクロールし、スタートポイントを設定します。設定したいポイントを決めたら再生ボタン(13)を押してキューポイントを設定します。CUEボタン(14)またはINボタン(15)を押すと、ここで設定したポイントに戻ります。



注意: バンクボタンが点滅中は本体がバンクを設定中です

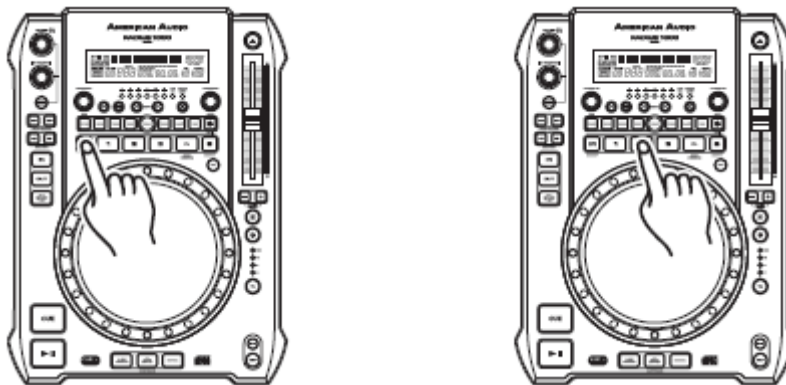
## 保存方法

キューポイント設定後、そのキューポイントをバンクボタン(26)に保存する事ができます。

メモリーに保存されたキューポイントは電源を落して再度立上げた時も、ディスクを取り出した後でも再生可能です。本体には各ディスク3つまで、最大1500キューポイントを保存する事ができます。

バンクボタンにはキューポイントまたはサンプルのいずれかの保存が可能です。

- 1) キューポイントを設定後メモリーボタン(27)を押して下さい。メモリー機能が稼働され赤いメモリーキューLEDが点灯します。3つのバンクボタンのいずれかの保存先を選択するとバンクボタンのLEDが短く点滅します。バンクボタンLEDの点灯はサンプルまたはキューポイントが保存されたことを意味し、赤いメモリーLEDが消灯します。



- 2) 上記の方法でキューポイントの保存を行うと、いつでもキューポイントへアクセスできるようになります。再生を中断する事無く、キューポイントがプレイバックされます。保存されたキューポイントのアクセスには、キューポイントの作成に使用したディスクの挿入が必要です。

## 10. ループの設定および再生

ループとは音の輪のことで、任意のA-B間をくり返し再生することを言います。ループには長さの制限がありませんので、CDの最初から最後までループすることもできます。

- 1) PLAY/PAUSEボタン(13)を押してCD を再生します。



- 2) INボタン(15)を押して、ループの起点を設定します。IN ボタン(15)のLED が点灯します。



- 3) OUTボタン(15)を押して、ループの終点を設定します。INボタン(15)とOUTボタン(15)上のLEDが点滅して、ループ再生中であることを知らせます。



#### ループ・インジケータ

ループ再生中はRELOOPインジケータ(52)がディスプレイに表示され、ループ再生中であることを知らせます。

#### ループの解除

ループ再生を解除する時は、OUTボタン(15)を押します。ループから抜けて通常の再生に戻ります。INボタン(15)とOUTボタン(15)のLEDはそのまま点灯し続け、ループが本体に保存されていることを知らせます。



ループを再開する時は、RELOOPボタン(15)を押して下さい。INボタン(15)とOUTボタン(15)のLEDがもう一度点滅を始め、保存されているループの再生を再開します。

## 注意

ループはエンドポイントを変更することで、ループの長さの編集ができます。

### ループのエンディングポイント編集

- 1) OUTボタンを押しループから通常の再生に戻って下さい。ループモードから抜けエンディングポイントの編集が行える状態になります。
- 2) 新たなエンディングポイントに達したら、もう一度OUTボタン(15)を押して下さい。  
ループを短くする:トラックの前方でOUTボタン(15)を押して下さい。  
ループを長くする:トラックの後方でOUTボタン(15)を押して下さい。

## 11.内蔵サンプラー操作方法

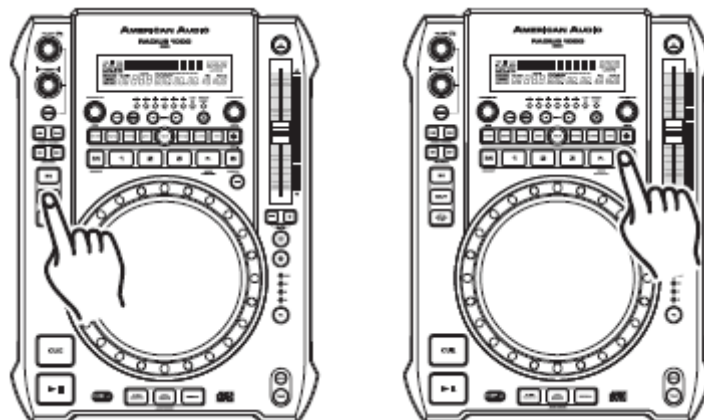
Radius1000Iにはサンプラーが内蔵されています。3つのバンクボタン(26)に各3つのサンプルを保存することも可能です(バンクボタンにはキューポイントまたはサンプルのいずれかのための保存になります)。サンプルは最長5.5秒間でCD再生中いつでもリコールできます。CDドライブが一時停止の時はCDが取り出された後でもサンプルの再生が可能です。いつでも音楽を遮る事無くサンプルの再生が可能です。本体が再生中の状態でサンプルを再生すると再生中の曲にオーバーラップします。サンプルは一度でもループでも再生できます。キューポイントも含め最大1,500(500x3)のサンプル保存が可能です。

### サンプル作成

- 1) ループを初期化して下さい。  
サンプルとしての保存はループの長さが5.5秒間以下でなくてはなりません。5.5秒間以上になるとサンプルとしての保存ではなくキューポイントとして保存されますのでご注意ください。



- 2) メモリーボタン(27)を押して下さい。赤いメモリーボタンLEDが点灯し保存が出来る状態であることを知らせます。
- 3) 3つの中からバンクボタン(26)を選択し押して下さい。
- 4) サンプルが保存されると赤いLEDが消えます。
- 5) サンプルが保存されたこの時点では、サンプル作成に使用したループはOUTボタン(15)を押すまで再生し続けます。
- 6) サンプルは一時停止中も再生ができます。サンプルの再生にはサンプルボタン(25)を押し、サンプル機能をONにして下さい。サンプル機能がONになると青いLEDが点灯します。サンプルを連続再生する場合はサンプル機能をONのままにしておいて下さい。一度のみの再生はサンプル再生開始後すぐにサンプル機能をOFFにして下さい。サンプルはサンプル機能がOFFになるまで再生し続けられます。



### 注意

サンプル機能をONにせずサンプル再生を試みると、バンクボタン(26)はキューポイントとして機能いたしますのでご注意ください。

### サンプルパラメーター変更方法

この機能でサンプルのボリュームとピッチの変更ができます。バリューを高くするとピッチ%またはボリュームが上がります。ピッチバリューとは速さ調節でトータルのクオリティーとは関係ありません。バリューの変更は一時的なものとして調節を設定するものとあります。サンプルプレイバックモード中のサンプルバリュー変更には3ステップあります。

#### サンプルパラメーター変更—スピード

サンプル再生中にパラメータータイムノブ(28)を押して下さい。一度押すとディスプレイディスプレイに%が表示されます。ノブを時計回りに回すとピッチが上がり反時計回りに回すとパラメーターバリューが下がります。



#### サンプルパラメーター変更—ボリューム

サンプル再生中にパラメーターレイシオノブ(23)を押して下さい。一度押すとディスプレイディスプレイにボリュームバリューが表示されます。ノブを時計回りに回すとボリュームが上がり反時計回りに回すとパラメーターバリューが下がります。



### サンプルパラメーター変更—ホールド機能

この機能でパラメーター調整の保存とロックができます。パラメーターの設定を行う前にホールド機能が起動させられていない場合、設定されたパラメーターは一時的なものとなります。ホールドボタン(24)を選択すると全てのパラメーターは再度変更される、又は電源を切断するまで残りません。パラメーターは本体への保存も可能です。



### 12. バンクボタン(26)

この機能はサンプルやキューポイントの保存に使用します。この3つのバンクボタンに保存できるのはキューポイントまたはサンプルのみです。サンプルを保存した場合、サンプルのスタートポイントをキューポイントとしてお使い頂けます。バンクボタンを使用するとサンプル又はキューポイントを再生中の曲を妨げる事無く即座に再生します。サンプルモードで再生を行っている際にサンプルが保存されたバンクボタンを押すと再生中の曲を妨げる事無く即座にサンプルを再生します。本体がサンプルモードでプレイバックモードではない場合、サンプルが保存されたバンクボタンを押すと直ちにサンプルの再生を行います。



### 13. バンクプログラムボタン(26)

Radius1000はお好みの順番で保存してある3つのバンクボタンのサンプルを、再生中の曲を妨げること無く再生できます。最大12回までプログラムする事ができます。一時停止中の再生、及びディスクを取り出した後も再生することができます。本体がサンプルモードでプレイバックモードでは無い場合、サンプルが保存されたバンクボタンを押すと直ちにサンプルの再生を行います。

#### サンプルのプログラム

- 1) 1つ以上のサンプルが保存された状態でバンクプログラムボタン(26)を押して下さい。キャラクターディスプレイ(41)がBANK.P=01と表示されます。



- 2) サンプルをお好みの順番に並べて下さい。

例:Bank3; Bank 1; Bank 2; Bank 3; Bank 3; Bank 1

プログラムの終了はバンクプログラムボタン(26)を押して下さい。

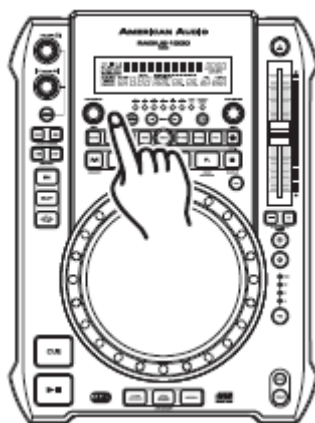


- 3) プログラムしたサンプルの再生にはまずサンプルボタン(25)を押し、次にバンクプログラムボタン(26)を押して下さい。

#### 14. タイムメーター(49)/タイムバー(47) の変更

通常再生中にタイムボタン(29)を押すとディスプレイに表示されているタイムインフォメーションの変更が行えます。タイム設定方法は以下になります。

- 1) ELAPSED(48) – ディスプレイにトラックの経過時間が表示されます。
- 2) REMAIN(48) – ディスプレイにトラックの残り時間が表示されます。
- 3) TOTAL REMAIN(48) – ディスプレイにディスク全体の残り時間が表示されます。



#### タイムバー・インジケータ

トラックやディスクの再生時間や残り時間が、タイムバー・インジケータで表示されます。選択した表示(ディスク残り時間・残り時間・再生時間)によって、タイムバーの長さが変わります。トラックが終わりに近づくと、タイムバーが点滅し始めます。タイムバーの点滅によって、トラックの終了が近いことを知らせます。

#### 15. リコールメモリー

Radius1000には1,500のキューポイントやパラメーターが保存できます。ディスクを取り出した後も再生をする事ができます。特定のDiscのリコールを行う際、下記に

- 1) ドライブにCDが入っていない事をご確認下さい。
- 2) メモリーボタン(27)を押して、LEDが点滅するのを確認して下さい。
- 3) ディスプレイに“RECALL”と表示されますので、CDを挿入して下さい。リコールを終えると、メモリーボタンの点滅が終了します。

## ジョグホイールA.CUE SCRATCHモード

タッチセンシティブ・ジョグホイールによって、再生やキューコマンドを操作する事ができます。

### ジョグホイールのタッチ感度調整

フォルダーノブ(20)を押して、インターナルメニューに入って下さい。タイム又はレイシオノブ(28、23)を時計回りに回し、2.SENSITIVITYが表示されたらノブを押して下さい。ディスプレイに感度が表示されますので-20(感度:弱)~+20(感度:強)から選択し、もう一度タイム又はレイシオノブ(28、23)を押し決定して下さい。フォルダーノブ(20)を押すとメニューから抜けられます。

### A.CUE SCRATCHモードの起動

ジョグホイールでの再生/キューコマンドを行う際、A.CUE SCRATCHモードを起動しておく必要があります。A.CUE SCRATCHボタン(12)を押すと、A.CUE SCRATCHモードに入ります。



## プレイバックモード

再生中でA.CUE SCRATCHモードが働いている時にジョグホイール(9)をタップすると、キューポイントからの再生を再開します。ジョグホイールから手が離れるまではトラックの再生は行われませんが、ジョグホイールから手を離すとキューポイントからの再生を再開します。

キューモード中でA.CUE SCRATCHモードが働いている時にジョグホイール(9)をタップすると、キューポイントからの再生を再開します。ジョグホイールから手が離れるまでは、トラックの再生が続きますが、ジョグホイールから手を離すとキューポイントへ戻りトラックの再生を一時停止します。



### 注意

バンクボタンのLEDが点滅している時、本体は最後に再生していたキューポイントに戻ります。

## ピッチ調整

この機能でトラック、ループの再生速度の調整ができます。この機能は主にターンテーブルや他のCDのビートマッチに使用します。プレイバック再生速度は±100%まで調整できます。

### 1. ピッチスライダー(3)

ピッチの上げ下げをします。スライダーを上げるとピッチが下がり、スライダーを下げるとピッチが上がります。ピッチスライダーの可変幅は、 $\pm 4\%$ 、 $\pm 8\%$ 、 $\pm 16\%$ 、 $\pm 100\%$ で切り替えることができます。ピッチボタン(6)がONの状態の時のみ、ピッチスライダーで設定したピッチ調整が働きます。サンプルはピッチスライダーでは、ピッチ調整ができません。



### ピッチスライダーのON/OFF

ピッチスライダーを使用するにはピッチON/OFFボタン(5)をONにします。ボタンのLEDが点灯します。



### ピッチスライダーの使用方法

スライダーを上下に動かすことで、ピッチの調整を行います。スライダーが中央にあるとき、ピッチ調整の値は「±0」となります。



### ピッチスライダー可変幅を変更する

ピッチスライダーの可変率を変更することができます。%ボタンを押して±4%、±8%、±16%、±100%に切り替えることが可能です。



### ピッチベンド

ピッチを一時的に早くしたり遅くしたりする機能です。(-)(+)ピッチ・ボタンか、ジョグホイール(9)を使って操作します。ピッチベンドはピッチスライダーと平行して動作します。例えば、ピッチスライダーが+2%に設定されている時は、ピッチベンドのスタート地点も+2%からになります。

### 注意

ピッチを-100%にすると、トラックの再生が完全にストップします。

(-)ピッチベンドボタンを押すと再生ピッチが下がります。



(+)ピッチベンド ボタンを押すと再生ピッチが上がります。



### ピッチベンド ボタン(5)

(+)ボタンはピッチを上げ、(-)はピッチを下げます。どの程度ピッチを変更するかはボタンを押し続けている時間に比例します。(+)ボタンを押し続けているとディスクのスピードは、インターナルメニューの3で設定した最大可変幅(0~100%)に達するまで上がります。ボタンから手を離すと、自動的に元のピッチに戻ります。

### ジョグホイール(9)

ジョグホイールでも一時的にピッチを変更できます。時計周りに回していくとトラックのピッチが上がり、反時計周りに回すとトラックピッチは下がります。ジョグホイールを回すスピードと回転数がピッチベンドの大きさを決定します。右に回し続けるとピッチは徐々に上がり、最大+100%まで上がります。左に回し続けるとピッチは徐々に下がり、-100%に達すると再生を停止します。ジョグホイールの回転を止めると自動的に元のピッチに戻ります。

### 注意

スクラッチエフェクト(12)機能がONの時は、中央のタッチセンサー部に触れないようにジョグホイール外側のラバー部分を使ってピッチベンドを行って下さい。



### 内蔵エフェクト機能

Radius1000には7つのエフェクトが内蔵されています。エフェクトのオーバーラップ使用で、最大4つのエフェクトが同時に使用できます。内蔵エフェクトはフィルター、エコー、トランス、スキッド、フェーズ、フランジャー、パンの7つです。デフォルトパラメーターでエフェクトを使用する方法と、パラメーターを変更しながらエフェクトをカスタマイズして使用する方法があります。エフェクトごとにパラメーターバリューは異なります。パラメーターの調整バリューはPR(パラメーターレイシオ)とPT(パラメータータイム)の2種類です。

### ビートセレクトボタン(21)

各エフェクトにはBPMに合わせられた、6つのエフェクトパラメーターを選択できます。左右のビートセレクトボタンで、エフェクトのパラメーターを切り替えることができます。

BEAT SELECTION BANKS
1 - Refreshes on the 1/4 Beat
2 - Refreshes on the 1/2 Beat
3 - Refreshes on 3/4 Beat
4 - Refreshes on 1/1 Beat (every full beat)
5 - Refreshes on 2/1 Beat (every two beats)
6 - Refreshes on 4/1 Beat (every four beats)



### スクラッチエフェクト/スキッドエフェクト

スクラッチ機能はリアルタイムでターンテーブルのスクラッチをシミュレートします。スクラッチ機能はジョグダイヤル下のスクラッチボタン(12)を押し、LEDが青く点滅していることを確認して下さい。スキッドエフェクトはターンテーブルが回転を開始するように、トラックの再生を始めるエフェクトです。スキッドエフェクトが動作している時、ジョグダイヤルはノーマルモードへ自動的に切り替わります。スキッドエフェクトのタイムパラメーターは、0010から9990.9990の間で調節できます。スキッドバリュー幅は10msから10秒です。



### フィルター(FILTER)エフェクト

フィルターエフェクトは原音をねじり音調を変化させます。パラメーターの調整バリューはPR(パラメーターレイシオ)とPT(パラメータータイム)の2種類があり、PTでタイムレンジを調整し、PRでフルケンシーを調整します。



### フェーズ(PHASE)エフェクト

フェーズエフェクトは原音を微調整し音調を変化させる事ができます。パラメーターの調整バリューはPR(パラメーターレイシオ)とPT(パラメータータイム)の2種類があり、PTでタイムレンジを調整し、PRでフルクエンシーを調整します。



### フランジャー(FLANG.)エフェクト

フランジャーエフェクトでは、変化のある短いディレイをかけた信号を元の信号とミックスすることにより、フェーズシフトされたサウンドが作成されます。パラメーターの調整バリューはPR(パラメーターレイシオ)とPT(パラメータータイム)の2種類があり、PTでタイムレンジを調整し、PRでフルクエンシーを調整します。



### エコー(ECHO)エフェクト

出力にエコーを加えます。パラメーターの調整バリューはPR(パラメーターレイシオ)とPT(パラメータータイム)の2種類があり、PTでタイムレンジを調整し、PRでフルクエンシーを調整します。



### トランス(TRANS)エフェクト

リアルタイムでミキサーを使ったトランスフォーマースクラッチをシミュレートします。パラメーターの調整にはPR(パラメーターレイシオ)とPT(パラメータータイム)の2種類があり、PTでトランスのスピードを調整し、PRでトランスのオーディオレンジスを調整します。



### パン(PAN)エフェクト

出力を左右のチャンネルにパンする事ができます。PTで各チャンネルのパンエフェクトの時間を調整し、PRで左チャンネルから右チャンネルにスイッチする速さを調整します。



### パラメーター

全てのエフェクトはパラメーターで調整します。調整はパラメーターノブ(23又は28)を回転させながら行います。ディスプレイ画面を見ながら調整して下さい。パラメーターの調整はPR(パラメーターレイシオ)とPT(パラメータータイム)の2種類を使用し、お好みに合わせてエフェクトをカスタマイズできます。パラメーターノブを押して回転させると、素早いパラメーターの調整ができます。



### ホールド(HOLD)ボタン

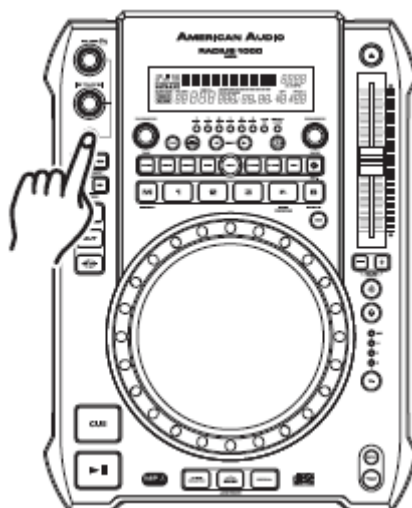
ホールドボタン(24)を押して、調整したパラメーターをロックする事ができます。機能を起動するとホールドボタンが青く点灯します。ホールドを押さずロックをしない時、パラメーターは一時的なものとなり自動的に元の値に戻ります。



### トラックサーチ

この機能を使って曲の再生中もMp3ディスクのトラックを検索できます。

- 1) ADV.トラックボタン(18)を押して、トラックサーチモードにして下さい。
- 2) トラックとフォルダーのインジケーターが点滅します。












- 3) フォルダーノブ(20)又はトラックノブ(19)を使ってトラック検索を行います。
- 4) トラックが見つかったらフォルダーノブを押して下さい。ディスプレイに‘SEARCHING’と表示されます。
- 5) トラックが見つかる则ち‘FOUND!!’と表示されます。

















- 6) ‘FOUND’と表示されたらフォルダーノブを押して下さい、検索されたトラックの再生が始まります。
- ADVボタンを押すとトラックサーチモードから抜けられます。



## MIDI MAP

SW name	Type	MIDI	MIDI2(Hold TAP)	Remarks
 FOLDER	SW/LED/ENC	19/19/36	56/19/73	CC TYPE = RELATIVE
 TRACK	SW/LED/ENC	1F/1F/38	5C/1F/75	CC TYPE = RELATIVE
Para. Time	SW/ENC	25/3A	62/77	CC TYPE = RELATIVE
Para. Ratio	SW/ENC	2B/3C	68/79	CC TYPE = RELATIVE
JOG	SW/ENC	20/35	5D/72	CC TYPE = RELATIVE
 FOLDER	ENC/CENTER	36/2C	73/69	CC TYPE = ABSOLUTE
 TRACK	ENC/CENTER	38/31	75/6E	CC TYPE = ABSOLUTE
Para. Time	ENC/CENTER	3A/32	77/6F	CC TYPE = ABSOLUTE
Para. Ratio	ENC/CENTER	3C/33	79/70	CC TYPE = ABSOLUTE
 FOLDER	CW/CCW	36/37	73/74	CC TYPE = NOTE
 TRACK	CW/CCW	38/39	75/76	CC TYPE = NOTE
Para. Time	CW/CCW	3A/3B	77/78	CC TYPE = NOTE
Para. Ratio	CW/CCW	3C/3D	79/7A	CC TYPE = NOTE
JOG	CW/CCW	35/7B	72/7C	CC TYPE = NOTE
Pitch Silder	VR	PITCHBEND	PITCHBEND	CC TYPE = PITCHBEND
Pitch Silder	VR/CENTER	34/26	71/63	CC TYPE = ABSOLUTE
IN	SW/LED	0B/0B	48/0B	
OUT	SW/LED	05/05	42/05	
CUE	SW/LED	30/30	6D/30	
	SW/LED	2A/2A	67/2A	
ADV.	SW/LED	2F/2F	6C/2F	
FILTER	SW/LED	1B/1B	58/1B	
ECHO	SW/LED	15/15	52/15	
TRANS	SW/LED	0F/0F	4C/0F	
SKID	SW/LED	09/09	46/09	
HOLD	SW/LED	21/21	5E/21	
PHASE	SW/LED	27/27	64/27	
FLANG.	SW/LED	2D/2D	6A/2D	
PAN	SW/LED	03/03	40/03	
	SW/LED	04/04	41/04	
	SW/LED	02/02	3F/02	

## MIDI MAP Cont.

SW name	Type	MIDI	MIDI2(Hold TAP)	Remarks
Memory	SW/LED	1C/1C	59/1C	
	SW/LED	01/01	3E/01	
	SW/LED	06/06	43/06	
%	SW/LED	0C/0C	49/0C	
P.	SW/LED	22/22	5F/22	
Sample	SW/LED	28/28	65/28	
A.Cue scratch	SW/LED	24/24	61/24	
	SW/LED	1E/1E	5B/1E	
Normal	SW/LED	18/18	55/18	
1	SW/LED/LED2	16/16/3C	53/16/3C	
2	SW/LED/LED2	10/10/3D	4D/10/3D	
3	SW/LED/LED2	0A/0A/3E	47/0A/3E	
	SW	29	66	
	SW	1D	5A	
	SW	11	4E	
	SW	23	60	
Time	SW	1A	57	
SGU/CTN	SW	14	51	
	SW	17	54	
	SW	07	44	
	SW	0D	4A	
BPM	SW	12	4F	
TAP	SW	2E		
	SW	13	50	
 BEAT	SW	0E	4B	Chan= "1~8" or "9~16" no function
BEAT 	SW	08	45	Chan= "1~8" or "9~16" no function
	LED	35		Chan= "1~8" or "9~16" no function

## MIDI MAP Cont.

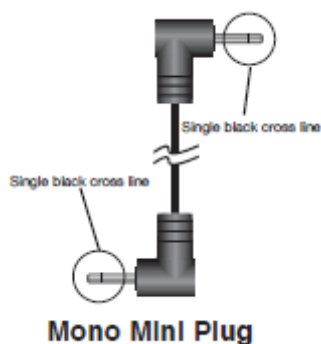
SW name	Type	MIDI	MIDI2(Hold TAP)	Remarks
$\frac{1}{4}$	LED	3B		Chan= "1~8" or "9~16" no function
$\frac{1}{2}$	LED	3A		Chan= "1~8" or "9~16" no function
$\frac{3}{4}$	LED	39		Chan= "1~8" or "9~16" no function
$\frac{1}{4}$	LED	38		Chan= "1~8" or "9~16" no function
$\frac{3}{4}$	LED	37		Chan= "1~8" or "9~16" no function
$\frac{4}{4}$	LED	36		Chan= "1~8" or "9~16" no function
100	LED	34		
16	LED	33		
8	LED	32		
4	LED	31		

## フリップフロップ機能

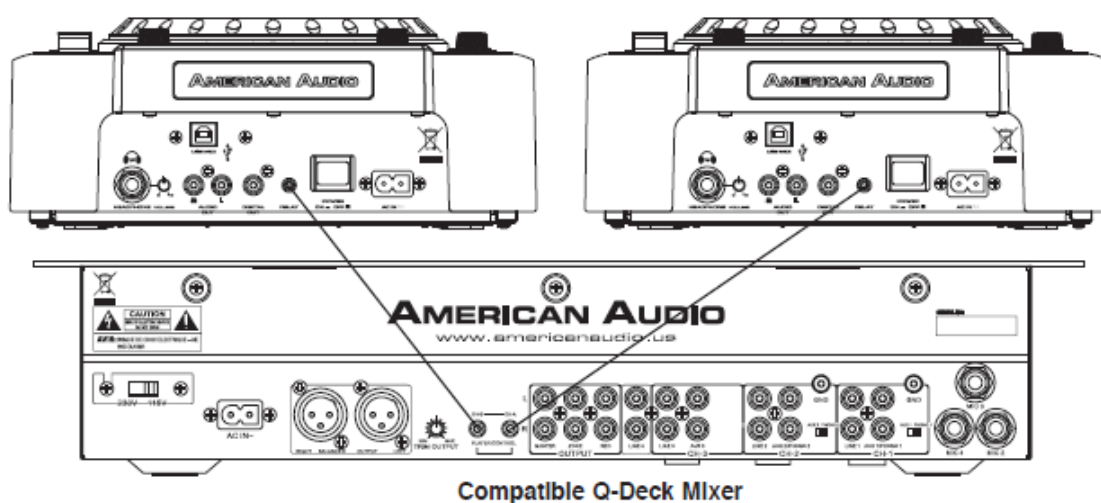
フリップフロップは、一台目の再生を終了すると自動的にもう一台の再生をスタートする機能です。シングル再生やディスク全体、また2台の組み合わせで、様々なリレー再生ができます。

### 曲単位でフリップフロップする

- 1) Radius1000とAmerican AudioのQスタート対応ミキサーをセットアップします。
- 2) ミキサーのクロスフェーダーを中央にセットします。
- 3) 2台のRadius1000をシングルモードに設定します。
- 4) 2台のRadius1000にCDを挿入します。
- 5) 再生モードを設定したら、任意のプレーヤーのPLAY/PAUSE ボタンを押し再生を始めます。
- 6) 1曲目の再生を終えたら、自動的に2台目のプレーヤーが再生を開始します。さらに2台目のプレーヤーが1曲目の再生を終えたら、1台目のプレーヤーが2曲目の再生を始めます。
- 7) 電源を切るか機能をオフにしない限り、フリップフロップは機能し続けます。



フリップフロップをコントロールするには、Radius1000をAmerican AudioのQスタート対応ミキサーに接続します。Radius1000のコントロール端子と、ミキサーのコントロール端子を接続します。



## 製品仕様

モデル: American Audio Radius1000 – プロフェッショナルCDプレーヤー

タイプ: スロットローディング、デジタルコンパクトディスクオーディオプレーヤー

ディスクタイプ: 5 in/12 cm, 3 in 8 cm, ファイルエクステンション: mp3, MP3, mP3, Mp3

ピッチレンジ:  $\pm 4\%$ 、 $\pm 8\%$ 、 $\pm 16\%$ 、 $\pm 100\%$

ピッチ精度: 0.15%

サイズ: 265mm(W) x 356mm(D) x 106mm(H)

設置方法: 平らで安全な場所に設置して下さい。

重さ: 3.7kg

電圧: 100V, 50/60Hz

電力消費量: 12W

環境条件: 本体使用可能温度 5~35°C(

本体使用可能室温 25~85% RH

保管温度 -20~60°C

アクセサリ: RCAケーブル 1セット(左右チャンネル用)

コントロール 1/8 ミニプラグ

### オーディオセクション

量子化: 16ビットライナー(各チャンネル)

サンプリングレート: 44.1kHz (ノーマルピッチ)

オーバーサンプリングレート: 8回

D/A変換: 16ビット

周波数特性:  $\pm 1\text{dB}$  20Hz ~ 20,000Hz

出力レベル: 1.4V  $\pm 1\text{dB}$

負荷インピーダンス: 100k ohm+

## オーディオ特徴(TEST DISC:TCD-782, LOAD=100Kohm)

ITEM	NOMINAL	LIMIT	CONDITION
出力レベル	1.4Vrms±0.5dB	1.4Vrms±1dB	1KHz, 0dB
チャンネルバランス	0.2dB以内	1dB以内	1KHz, 0dB
周波数特性	±0.4dB	±1dB	20Hz-20KHz, 0dB Output
ディエンファシス感応	-20dB±0.2dB	-20dB±1dB	16KHz, -20dB
チャンネル分離*1	91dB	85dB	1KHz, 0dB
T.H.D.+ノイズ*1	0.005%	0.01%	1KHz, 0dB
S/Nレシオ (IHF-A)*2	127dB	90dB	1KHz, 0dB
フォン出力レベル	0.27V±0.5dB	0.27±1dB	1KHz, -20dB

注意: \*1 20KHz ローパスフィルター使用

\*2 20KHz ローパスフィルター使用、“IHF-A”荷重

## 検索時間(TEST DISC: TCD-792)

ITEM	NOMINAL	LIMITS	CONDITION
ショートアクセスタイム	2秒	4秒	次のトラック再生
ロングアクセスタイム	4秒	6秒	トラック1->トラック20 トラック20->トラック1

## プレイアビリティ

ITEM	NOMINAL	LIMIT	CONDITION
遮断能力	1mm	0.7mm	TCD-725
黒色点	1mm	0.6mm	TCD-725
指紋	75um	65um	TCD-725
エキセントリセティ	140um	140um	TCD-712 W/O トラックジャンプ
垂直偏差	1mm	0.5mm	TCD-731R

注意: ※製品の仕様は改良の為、予告無く変更する場合がございます。

# **AMERICAN AUDIO**